

加根議員、中川議員が聞く

介護現場の 最前線

表紙写真／ふぁみりい高屋の皆さんと
101歳の利用者さん

今回は、「介護現場の最前線」をテーマに、
小規模多機能ホームふぁみりい高屋の皆さん
に介護現場の現状、課題についてインタビュー
しました。

プロフィール



かみおか みほこ
上岡 美保子 管理者



かんばら えいじ
神原 栄司 総務部長



とびた まきくみ
飛田 喜久美さん



のぶはら ちづ子さん
信原 ちづ子さん



みやけ ゆうこ
三宅 優子さん



のぐち りょうこ
野口 涼子さん



はっとり じゅんこ
服部 純子さん

一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようにお手伝いしていきたい。

Q 自己紹介をお願いします。

神原 私は、この業界に入って1年未満で、聞くこと全てが勉強になると思ってやっています。

上岡 40年近く看護師をしていて、去年の1月から介護の世界に初めて入りました。ご家族、

ご利用者に愛情を持ってかわからせていただくよう頑張っています。

三宅 介護保険導入とともに介護の世界に入り、4年前に東広島に引っ越ししてきて、本当にいい施設をつくり上げたいと試

行錯誤しながら、日々努力しています。

信原 この仕事について17年ぐらいいになります。介護予防事業や介護保険サービスなど知らない方も多いのではないかと思います。

飛田 介護の仕事は23年になります。年を取ってから免許を取ったので、ご利用者と同じような年ですけど、日々頑張っています。

野口 介護職は11年で、ここまでは1年ほどになります。小規模多機能ホームで働くのは初めてなので、まだまだ知らないこともありますが、頑張っていきたいと思っています。



- ① インタビュー風景
- ② ふあみりい高屋外観
- ③ 地域の方に施設を知ってもらうために始めた無人市場
- ④ 企業理念と職員が自ら考え作った理念

服部 介護職になって1年6か月です。こういう施設があることを知りませんでした。地域の方にもっと施設のことを知っていただきたいと思っています。

Q 小規模多機能ホームについて教えてください。

三宅 10年前にできた制度で、泊まりと通いと訪問の3つの機能を備えた施設です。お家を見てあげたいという家族の在宅介護を臨機応変に支えることのできる施設です。

Q 介護現場での課題や大変なことを教えてください。

飛田 プライバシーの関係で、ご近所の高齢者の情報が入りません。情報があれば、もっと困った人に何かお手伝いできるのではないかと思っています。

信原 介護保険の制度や、国の方針などが変わったときに、ご家族にとっては理解しにくいことや、戸惑ったりすることがあります。

神原 本当の介護というものを突き詰めると、機能回復するこ

とが大切であると思います。箱物だけではなく、ソフト面を目標に打ち出した行政があってもよいのではないかと思います。

Q 今後、こういった介護を目指していけますか。

上岡 24時間の対応で、ご利用者のニーズに応えていきます。また、終末期ケアができる施設を目指しています。

三宅 駆け込み寺的に、介護に困ったらお尋ねいただいたり、電話していただいたりといった拠点でありたいと思っています。

上岡 法人ですので、一般の方には営利目的ととられることもあると思いますが、職員は困っている方を一人でも多くお手伝いしたいという一心でやっています。職員全員で考えた理念に基づいて、利用者一人ひとりが住み慣れた地域で安心して1日でも長く暮らしていけるようにお手伝いしていきたいと思っています。